



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8138 URL <http://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 糸原博一 (TEL) 06-6262-2881
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,568	9.9	186	42.6	333	108.6	237	170.9
25年3月期第2四半期	9,618	△9.2	130	△16.4	159	△19.5	87	△21.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 272百万円(523.7%) 25年3月期第2四半期 43百万円(△43.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	18.60	—
25年3月期第2四半期	6.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,785	8,043	58.3
25年3月期	14,276	7,826	54.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,043百万円 25年3月期 7,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.25	—	4.25	8.50
26年3月期	—	4.25			
26年3月期(予想)			—	4.25	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	3.4	370	11.5	530	28.6	340	34.0	26.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	15,600,000株	25年3月期	15,600,000株
26年3月期2Q	2,858,221株	25年3月期	2,852,594株
26年3月期2Q	12,741,778株	25年3月期2Q	12,759,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策・金融政策への期待感などから円高の解消、株価の上昇が進み、輸出企業を中心に企業業績の改善が見られるものの、原油高や海外経済の下振れリスク懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客さま本位の積極的な営業活動に注力するとともに、市場の変化を先取りした提案型営業活動の推進など、営業施策の強化に努めてまいりました。

これらの結果、土木・建材資材関連分野が堅調に推移したこと、また持分法投資利益が大幅に増加したことなどから、売上高は105億6千8百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は1億8千6百万円（前年同期比42.6%増）、経常利益は3億3千3百万円（前年同期比108.6%増）、四半期純利益は2億3千7百万円（前年同期比170.9%増）と大幅な増収増益となりました。

事業分野別の売上概況は、次のとおりであります。

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、公共事業の着工が本格化したほか、首都圏を中心に大型マンションや倉庫等の建設が活発で、基礎工事用のコンクリート二次製品やセメント添加剤等の関連薬剤が増加し増収となりました。

建材資材関連分野では、消費税増税前の駆け込み需要の影響もあって住宅建設が高水準で推移しており、住宅造作関連商材・什器関連資材が大幅に増加したほか、省エネ・健康志向から内装用高機能壁紙や断熱ウレタン用薬剤が堅調で増収となりました。

この結果、売上高は35億4千2百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、スマートフォンやタブレット端末は需要が旺盛で関連部材が伸長しているものの、パソコンやデジタル家電は国内生産の縮小の影響を受けて低迷しており、関連商材が減少し減収となりました。

輸送機器関連分野では、自動車の国内生産はやや回復傾向にあるなか、一部の部材・部品に採用拡大が見られたものの、全体としては前年を下回っていること、また海外生産も前年後半からの不振から回復できず関連部材が低調で減収となりました。

この結果、売上高は29億1千万円（前年同期比1.2%減）となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、猛暑の影響から夏用基礎化粧品は紫外線対策用化粧水などが好調で関連薬剤が伸長しましたが、中高価格帯化粧品が不振だったほか、製靴関連も安価輸入品との競合から低迷し減収となりました。

フィルム関連分野では、菓子用の一般フィルムは猛暑の影響を受けて低調に推移しましたが、冷菓用・飲料用の包装材が伸長したほか、高機能複合フィルムの新規採用などもあって増収となりました。

この結果、売上高は14億1千1百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、安価な海外品の影響を受けて繊維二次加工の国内生産の縮小に歯止めがかからず、また合成繊維も生産の海外移転が進み、関連加工薬剤や油剤等が減少しました。

化学工業関連分野では、円安の影響からエンジニアリングプラスチック等の輸出販売が東南アジア向けに好調に推移したほか、基礎化学品に大型の輸入案件があつて大幅な増収となりました。

この結果、売上高は27億円（前年同期比18.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は前連結会計年度末に比べ、8億2千1百万円減少し、92億7千5百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億4千7百万円、受取手形及び売掛金が3億9百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、3億3千万円増加し、45億9百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億4千5百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて、4億9千1百万円減少し、137億8千5百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、7億2千4百万円減少し、51億4千9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億7千4百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ、1千6百万円増加し、5億9千2百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、7億8百万円減少し、57億4千1百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、2億1千6百万円増加し、80億4千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億8千2百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、19億9千万円となり前年同四半期連結累計期間に比べ3億7千6百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は2億9千4百万円(前年同四半期連結累計期間は1億7百万円の増加)となりました。

これは主に、売上債権の減少3億1千7百万円、税金等調整前四半期純利益3億3千3百万円の収入に対し、仕入債務の減少7億8千4百万円、法人税等の支払額5千5百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1百万円(前年同四半期連結累計期間は1千1百万円の減少)となりました。

これは主に、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による4億6百万円の収入に対し、投資有価証券の取得による4億8百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は6千2百万円(前年同四半期連結累計期間は6千2百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払5千4百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月1日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,507,225	2,060,048
受取手形及び売掛金	7,131,777	6,822,053
有価証券	100,000	—
商品	302,588	322,435
その他	68,677	83,836
貸倒引当金	△12,729	△12,479
流動資産合計	10,097,539	9,275,894
固定資産		
有形固定資産	784,129	775,195
無形固定資産	54,430	46,150
投資その他の資産		
投資有価証券	3,158,055	3,403,259
その他	183,487	285,742
貸倒引当金	△1,184	△1,226
投資その他の資産合計	3,340,358	3,687,775
固定資産合計	4,178,919	4,509,120
資産合計	14,276,458	13,785,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,612,457	4,838,191
未払法人税等	58,029	99,240
賞与引当金	59,130	66,542
役員賞与引当金	19,000	9,500
その他	125,618	136,189
流動負債合計	5,874,234	5,149,663
固定負債		
退職給付引当金	728	812
役員退職慰労引当金	208,931	218,688
その他	365,892	372,541
固定負債合計	575,551	592,041
負債合計	6,449,786	5,741,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,433,597	1,433,631
利益剰余金	4,834,816	5,017,571
自己株式	△579,622	△581,138
株主資本合計	7,405,392	7,586,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,037	408,442
土地再評価差額金	46,317	46,317
為替換算調整勘定	△7,075	1,886
その他の包括利益累計額合計	421,279	456,647
純資産合計	7,826,671	8,043,310
負債純資産合計	14,276,458	13,785,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,618,182	10,568,888
売上原価	8,731,533	9,628,473
売上総利益	886,649	940,414
販売費及び一般管理費	755,911	754,001
営業利益	130,737	186,413
営業外収益		
受取利息	3,686	5,000
受取配当金	25,718	31,329
有価証券売却益	—	10,088
持分法による投資利益	—	93,225
仕入割引	2,501	2,276
還付消費税等	5,729	—
その他	7,333	9,155
営業外収益合計	44,969	151,076
営業外費用		
支払利息	77	—
持分法による投資損失	11,832	—
売上割引	3,219	2,774
その他	877	1,548
営業外費用合計	16,006	4,322
経常利益	159,700	333,166
特別損失		
固定資産除売却損	74	—
特別損失合計	74	—
税金等調整前四半期純利益	159,626	333,166
法人税、住民税及び事業税	72,124	96,151
法人税等合計	72,124	96,151
少数株主損益調整前四半期純利益	87,502	237,015
四半期純利益	87,502	237,015

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,502	237,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,037	26,669
為替換算調整勘定	576	8,962
持分法適用会社に対する持分相当額	△372	△264
その他の包括利益合計	△43,832	35,367
四半期包括利益	43,669	272,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,669	272,382
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	159,626	333,166
減価償却費	20,160	22,325
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35,999	△240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,138	7,412
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,150	△9,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,150	84
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,152	9,757
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△1,066	△8,471
受取利息及び受取配当金	△29,405	△36,329
支払利息	77	—
持分法による投資損益 (△は益)	11,832	△93,225
有形固定資産除売却損益 (△は益)	74	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,088
売上債権の増減額 (△は増加)	218,352	317,971
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,016	△19,495
その他の資産の増減額 (△は増加)	18,480	△14,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	△183,837	△784,609
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,383	11,245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,869	△701
その他	△633	△2
小計	173,415	△274,719
利息及び配当金の受取額	28,561	35,857
利息の支払額	△77	—
法人税等の支払額	△94,393	△55,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,506	△294,718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△5,940	△3,692
無形固定資産の取得による支出	—	△1,344
投資有価証券の取得による支出	△12,351	△408,141
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	263	406,044
長期貸付金の回収による収入	3,000	6,000
その他	3,489	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,539	△1,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,389	△8,394
自己株式の取得による支出	△3,938	△301
自己株式の売却による収入	181	226
配当金の支払額	△53,955	△54,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,101	△62,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	562	11,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,427	△347,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,331,745	2,337,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,366,172	1,990,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。